

平成21年度 事務事業評価シート（平成20年度実績分）

事務事業名	漏水調査事業		部課コード	2404	予算事業科目		事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	水道局	部局長名(2次評価者)	木藤 善治		個別事務	全部				
	担当部署	給水課	所属長名(1次評価者)	土居 啓史							
	電話番号	088-821-3250	E-mail	kc-240400@city.kochi.lg.jp							

1 事業の位置付け

予算科目(平成20年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	水道事業会計	目標	環境と共生する安全で快適な都市		政策基本方針 すべての市民が安全で、安心して暮らせる快適な生活環境づくりを推進します。
款	1 水道事業費用	政策	快適で安全な生活環境づくり		
項	1 営業費用	施策	安全でおいしい水の安定供給		
目	2 配水費	区分	水資源の有効利用の促進		

2 事業の根拠

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	高知市水道事業基本計画2007(基本施策:1-8漏水防止対策事業の推進)	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	有効率	
意図	どのような状態にしていけるのか	有効率の維持及び向上(平成28年度目標値、98.0%)を目的に配水管及び給水装置(量水器一次側まで)の漏水調査を行い、漏水箇所の早期発見及び早期修理を実施し、無効水量(漏水量等)の減少を目指す。	
手段	事業実施体制等	委託業務(4件)及び水道局直営班(2名)による漏水調査。	事業開始年度 昭和50年度 事業終了年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ●水道局直営班(2名)による、春野地区の調査。(但し、緊急調査については、高知市全域を対象)。 ●高知市内(春野地区を除く。)を4ブロックに分割し、委託業務による漏水調査の実施。 	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	委託業務による漏水発見件数	1年間の漏水発見件数に対する修理件数の割合
	B	直営による漏水発見件数	1年間の漏水発見件数に対する修理件数の割合
	C	有効率	有効水量/配水量

4 事業の実績等

			18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	委託業務による漏水発見件数	目標	100%	100%	100%	修理件数/漏水発見件数 漏水箇所については、1ヵ月以内に修理を実施	
		実績	100%(489件/489件)	100%(375件/375件)	100%(413件/413件)			
	B	直営による漏水発見件数	目標	100%	100%	100%		
		実績	100%(143件/143件)	100%(166件/166件)	100%(134件/134件)			
	C	有効率	目標					
		実績	95.23%	95.26%	93.84%			
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	13,596	19,688	28,090	34,000	20年度より、春野地区を追加 21年度は当初予算額	
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	13,596	19,688	28,090		
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	20,250	20,250	20,250		所属長0.05、課長補佐0.05 係長0.10、担当0.50(2.00)	
		正規職員 (千円)	20,250	20,250	20,250			
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	2.70	2.70	2.70			
		正規職員 (人)	2.70	2.70	2.70			
		その他 (人)						
		総コスト=①+② (千円)	33,846	39,938	48,340			
市民1人当たりコスト (円)	103	117	142		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数 (人)	327,310	341,544	340,695					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

--

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 1 日）

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	A	5.0	本事業は、高知市水道事業基本計画のうち、基本目標の漏水防止対策事業の推進施策の一つの事業である。
		B (3) 一部結びつく			
		C (1) あまり結びつかない			
		D (0) 結びつかない			
② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	A			
	B (3) 横ばいである				
	C (1) 少ない、減少している				
	D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	A	5.0	調査結果を、随時報告させ道路陥没等を未然に防ぐなど、十分達成している。
		B (3) 概ね達成している			
		C (1) あまり順調ではない			
		D (0) 十分な成果を望めない			
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	A		
		B (3) 概ね妥当である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 見直しが必要である			
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	A	3.0	業者委託と機動性のある直営調査とのバランスの検討の余地がある。
		B (3) 行政主体が望ましい			
		C (1) 検討の余地はある			
		D (0) 十分可能である			
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	C		
		B (3) 概ね効率的にできている			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 十分可能である			
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	公平性が高い。
		B (3) 概ね保たれている			
		C (1) 偏っている			
		D (0) 公平性を欠いている			
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A		
		B (3) 概ね適正な負担割合である			
		C (1) 検討の余地がある			
		D (0) 検討すべきである			
総合点	18.0	総合評価	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)		
			C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)		
			D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 21 年 9 月 11 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	1次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項

--